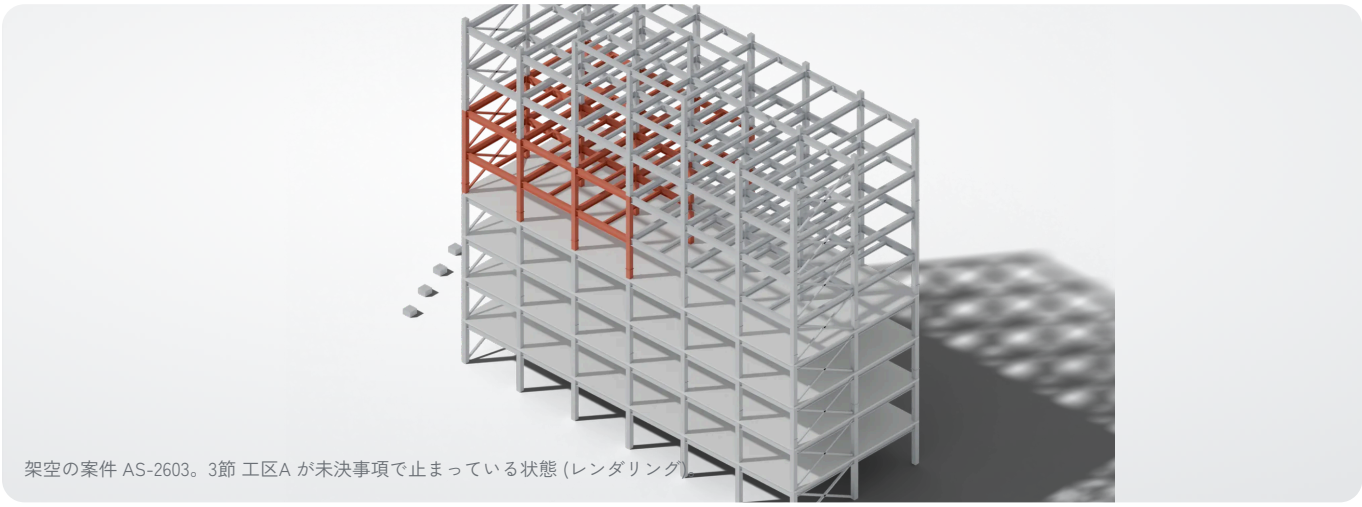
鉄骨工事の未決事項・製作着手管理 コンセプトスタディ KIMERU



架空の案件 AS-2603。3節 工区A が未決事項で止まっている状態 (レンダリング)。

課題

01

専門工事業者は、物決めの遅れを工程遅延の最大の要因に挙げています [1]。

02

決定の遅れや変更は、承認の回数、製作の手戻り、建方日へと波及します [12]。

03

承認は今も紙の回覧と押印に頼り、確認の責任範囲が曖昧です [1]。

アプローチ

- 未決事項そのものを中心に据え、決定者と影響する鉄骨量を付ける。
- 最終決定期限を建方日から稼働日で逆算する。
- 節ごとに製作着手判定と余裕日数を示す。
- 定例資料を自動で作成し、追記のみの変更記録を残す。

JEMIRAE が提供できること

現在. 産業向け・業務向けの UX、Web ソフトウェア開発、業務プロセスのデジタル化、システム連携の計画。

パートナーと. 業務検証のための経験豊富な鉄骨工事アドバイザー、および CAD・生産管理システムとの連携 (ベンダーのご協力が必要)。

Jemirae は構造設計・鉄骨製作・検査のサービスを提供していません。

パイロットのご提案

- 対象: 1 棟の 1 節
- 期間: 6 週間 (現在の未決事項リストと並行)
- 測定: 期限超過の件数、製作着手日の安定性、承認 1 回あたりの日数

> 私たちの進め方: まず現場の業務を理解し、そのうえで品質、信頼性、明確なコミュニケーション、実践的な導入を重視します。

お問い合わせ hello@jemirae.com · jemirae.com

出典: [1] 日建連 BIM モデル承認 WG 報告書 (2023 年 4 月)。[2] 日建連 鉄骨 BIM ワークフロー (2025)。

Jemirae による独立したコンセプトスタディです。実際の受託案件ではありません。プロトタイプ内の企業名・案件・データはすべて架空です。